

沿海地方チュグエフカ町の A. A. ファデエフ (Fadeev) 記念総合学校のエコクラブ 「エーデルワイス」(Edel`veis) の環境保護ボランティア活動の体験から

- 1 自治体名：ロシア沿海地方
- 2 発表者名：ガリナ・ラヂャンスカヤ (Galina Radyanskaya)
(チュグエフスキー地区 (Chuguevskii) チュグエフカ町 (Chuguevka) A. A. ファデエフ (Fadeev) 記念総合学校、10 年生)
- 3 活動期間：10 年間
- 4 活動場所：沿海地方、チュグエフスキー地区、チュグエフカ町
- 5 活動参加人数：100 名
- 6 活動を始めた経緯：地区の自然と文化遺産の保護、青少年の想像力育成、環境教育、愛国心教育の目的で始めた活動
- 7 発表要旨：

ロシア連邦国立公園「トラの呼びかけ」の一部はチュグエフスキー地区に位置している。2018 年 6 月 2 日は国立公園にとって記念すべき日である。その日に国立公園の誕生を祝う大きな行事があった。その日から、エコクラブ「エーデルワイス」のメンバーは国立公園の発展のため積極的に参加し始めた。国立公園のロゴを決めるコンクールや「国立公園「トラの呼びかけ」における観光開発」というプロジェクトに参加するとともに、ヒマラヤスギ保護活動を実施した。

エコクラブ「エーデルワイス」は 20 年間環境ボランティア活動を行っている。「エコクラブ「エーデルワイス」は環境にやさしい将来への道である！」というスローガンで活動している。

エコクラブの任務は地区の自然・文化遺産の保護、青少年の想像力育成、環境教育、愛国心教育である。

我々の課題は、環境教育に貢献すること、環境保護活動に町の住民を参加させること、地区の自然遺産を保護するために、市民の積極性を促進することである。

エコクラブのメンバーは、ロシア、日本、中国、韓国において開催された環境活動リーダー事業に何度も参加している。その事業では、環境問題の解決策に関する意見交換を行った。ロシアのアストラハン市で開催された青少年環境フォーラム「緑の地球」にも参加した。

毎年、我々の学校の生徒は鳥のための餌入れ、ムクドリ の 巣箱 を 作って 設置 している。2018 年はロシアでは「コウノトリ年」として宣言されている。我々もコウノトリ保護アクションに参加した。「鳥へ温もりを！」という作文と絵のコンクールに 156 名の生徒が参加した。

毎年校庭清掃からスタートして、「きれいな町は我々の手で」というアクションに参加している。その他に、住民と環境について話し合い、ビラ配り等をして、町の環境改善にできる範囲で貢献している。「トラの日」、「地球の日」に参加して、環境問題に住民の関心を集めるために、中央通りを行進して呼びかけている。3 月「アースタイム」、4 月「自分の木を植えよう！」というアクション

ンに参加して、様々な木の苗を植えている。

「自分の木を校庭、町、家、森に植えよう」というプロジェクトを継続している。学校周辺では、汚染された土を取り除いて、きれいな土に入れ替え、苗を植えている。今回、1年生から11年生までのすべてのクラスがこの作業に参加した。すべてのクラスが担当する苗木のお世話をすることにした。

エコクラブ「エーデルワイス」のメンバーも保護者と一緒に中央競技場の周辺において、ごみを回収し苗を植えた。

何年間も、我々のエコクラブは様々なプロジェクトに取り組み「エコクラブ「エーデルワイス」は環境にやさしい将来への道である！」というスローガンを現実のものにしている。市民である我々は、じっとしているわけではない。我々は行動している。

エコクラブのメンバーは次から次へと卒業し、社会に出ていく。しかし、これまでの活動を止めることなく、大学生活の中でも環境問題に多くの卒業生が取り組んでいる。